

2017年12月13日

**電通と日本マイクロソフト、日本初「人工知能型 OOH 広告」の提供を開始**  
**— オーディエンスのリアルタイム測定と視線検知によるインタラクティブ機能を実現 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）と日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、社長：平野 拓也）は、OOH 広告では国内初となる「リアルタイムオーディエンス分析・効果測定」と「視線検知によるインタラクティブ機能の実装」を実現した人工知能型 OOH 広告ソリューションの提供を開始します。

今回提供する人工知能型 OOH 広告ソリューションは、広告ビジネスで培った電通の知見と、画像認識技術に実績のあるマイクロソフトのクラウドベース AI「Cognitive Services」を掛け合わせることで実現しました。

具体的には、これまで取得できなかったオーディエンスデータ（リアルタイムな通行量、実際に OOH 広告を見た人の性別、年齢、感情など）の可視化や、オーディエンスが OOH 広告のどこを見ているのか、に応じたコンテンツの出し分けを、AI を使うことで可能にしています。

本サービスの提供開始に当たり、先進的な OOH 広告に取り組んでいる資生堂ジャパン株式会社の協力を得て、12月11日（月）～12月24日（日）の間、都営地下鉄六本木駅の1番線・2番線ホームのデジタルサイネージ「六本木ホームビジョン」にメイクアップブランド「MAQuillage」の広告を設置し、実証実験を行っています。

< 「MAQuillage」の広告イメージ >



画面の前に立つと  
 広告が開始



3色のルージュの画面に切り替わる。  
 気になる色のルージュの先を3秒見つめると…



選んだ色に合わせた診断結果および  
 ECサイトのプレゼントクーポンが  
 QRコードを通じて取得可能

なお、本サービスの提供にあたっては、日本電気株式会社（サイネージシステム）、クリエイションライン株式会社（人流解析レポート）、株式会社フューチャースタANDARD（視線検知）の協力を得ております。

今後、電通と日本マイクロソフトは共同でサービスを拡販し、2018年6月末までに国内5社のOOH広告での採用を目指します。また両社は引き続き、共同でサービスの向上に取り組んでいくことで、顧客企業ニーズを先取りする革新的なOOH広告ソリューションの開発・提供を行ってまいります。

以上

**【本件に関する問い合わせ先】**

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部  
小川、溪 TEL : 03-6216-8041

**【事業に関する問い合わせ先】**

株式会社電通 OOH局 テック&データインテリジェンス部  
神内、藤井 TEL : 03-6216-8041